

文化祭を終えて

PART 4

2組男子

初めての文化祭で、惜しくも銀賞だったけど、やるべきことはすべてやりきれたと思いました。やりきったのに銀賞だったということは、何かが足りなかったということ。その“何か”は、はっきりとはわかりませんが、その“何か”を見つけ、そして改善することができたら、もっと上の段に行けると思いました。今回の文化祭でできなかったことを、来年にできるようにするために、日頃の生活・常識のマナー・人間関係など、文化に関係のないことから、真剣に向き合っていきたいです。そして、3年生になったとき、積み重ねた努力を練った、最高の完成品を、先生や両親に見せたいです。学年合唱の『あさがお』で歌詞を考えながら歌ってみると、声を引けるようになったり、こえに感情を入れられるようになったりしました。学級合唱は望むような結果ではなかったけれど、最高の伴奏、最高の指揮、最高の歌声で勝負できたので、とても楽しかったです。今年の悔しさを、来年の文化祭への活力にして、これからもどんどん努力を積み重ねていきたいです。



6組女子

私は、練習を始めた最初の頃は、口も全く開かず、笑顔もなく、目線も下がっていてダメダメでした。でも、クラスを代表して指示を出してくれていたパートリーダーが、いろんなことを教えてくれたので、私も頑張ろうと思いました。だんだん練習してくるうちに、笑顔もできて、口も開いて、目線も上がるようになりました。小学生の時は、中学校の今のような歌い方ではなく、暗い感じで歌っていました。でも、中学生になって、小学校の時よりも良くなった気がします。学級練習でつらいときもあったけど、一生懸命頑張ったから金賞がとれたんだと思います。全校文化祭でも学年の代表として、『大切なもの』を頑張って歌いたいです。学年合唱の『あさがお』は学年で合わせる練習が少なかったけれど、みんなで心を1つにして、気持ちを込めて歌えたと思います。この学年の良さを『あさがお』を歌うことで伝えられたと思います。

6組女子

私は、初めての文化祭で、望んでいた金賞をとることができ、6組の団結力がより深まったと思います。とても良い思い出になりました。私はパートリーダーになり、毎日パート練習の中心となってきました。今までの練習はつらいことばかりでした。真剣に取り組んでいない人がいて、歌う姿勢が作られていなくて、気持ち・心が入っていない人がいて・・・毎回毎回注意し続け、きつくあたる部分もあって、とてもつらい練習でした。このときは「もう金賞はダメか・・・。」と思っていたけれど、苦しい練習を積み重ねていき、文化祭前日の練習は、今までで1番うまく歌えていて感動しました。感動のあまり、涙を流している友達、一緒に頑張ってきたパートの仲間、楽しそうに歌っているみんなを見ていると、「ああ、6組で本当に良かったな。金賞間違いなし!」と思いました。今でも思い出すと涙が出ます。文化祭本番も、みんな練習の成果を発揮し、金賞をとることができて本当にうれしさいっぱいです。私が思う6組の『大切なもの』は、家族・友達もありますが、6組の仲間と“花”を一緒に咲かせたクラスのみんなもつながっていると思いました。

